

**今日のトピック 世界の「投信マネー」(2020年5月)**
**債券ファンドは米国クレジットがリスクオン**
**流入超過額は1,000億ドル台に大幅縮小**

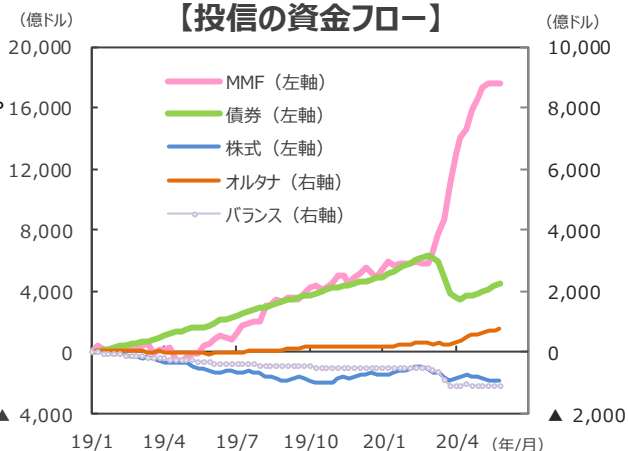
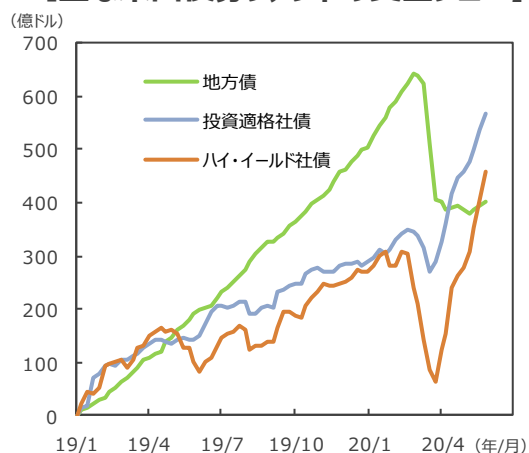
- 5月の投信マネーは全体で+1,438億ドル(4月+4,469億ドル)と流入超過額が縮小しました。「MMF」が+916億ドル(同+3,718億ドル)となったことが主因です。他の資産は「債券」が+651億ドル(同+344億ドル)、「金」などを含む「オルタナ」が+146億ドル(同+256億ドル)、「株式」が▲262億ドル(同+151億ドル)、「バランス」が▲13億ドル(同+1,620億ドル)でした。

**債券ファンドは米国クレジットがリスクオン、新興債券も徐々に流出超過額が減少へ**

- 債券ファンドは「先進国」が+652億ドル(同+373億ドル)と3月の▲2,310億ドルの大幅流出超から2カ月連続の流入超で、増加傾向です。中心は北米で+502億ドル(同+210億ドル)でした。
- 中でも「ハイ・イールド社債」、「投資適格社債」は3月下旬以降流入超過が続いています。米連邦準備制度理事会(FRB)が、大幅な利下げや量的緩和の再開決定に加え、異例の信用供与策の一環で投資不適格とされる「ダブルB」社債の一部まで購入対象としたことなどから、米国クレジット市場に安心感が広がりました。「新興国」は、▲1億ドルと先月の▲29億ドル、先々月の▲526億ドルから着実に流出超過額が縮小しています。

**株式ファンドは流出超に転換**

- 株式ファンドは「先進国」が▲109億ドル(同+280億ドル)でした。「北米」が▲85億ドル(同+173億ドル)と流出超に転じた一方、「アジア(日本を含む)」は+58億ドル(同+101億ドル)と流入超でした。一方、「新興国」は▲153億ドル(同▲129億ドル)でした。4カ月連続の流出超です。新型コロナウイルスの感染拡大と経済規制の解除等の対策は国・地域によって異なり、総じて不透明感が根強い状況です。

**【投信の資金フロー】**

**【主な米国債券ファンドの資金フロー】**


(注) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2020年4月末現在35.9兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。データは2019年1月2日～2020年5月27日。週次ベース。2019年1月からの累計。

(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも  
チェック!**
**2020年6月 3日 投資環境の見通し(2020年6月号)**
**2020年5月26日 中央銀行の信用供与がクレジット市場に与える影響**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。